

1. 2019年度 事業報告

【1】広島港の利用促進に関する活動

- ① 国内外ポートセールス活動
 - ・ 広島港振興協会主催の「広島港セミナー」が、広島会場で開催された。当会員も多数参加し、広島港のPRを行った。(開催日:2月3日, 参加者:226名)
 - ・ 本年度も東京会場での開催は見送った。
- ② 関係諸機関との連携強調
 - ・ 当会が主催するイベントへ関係行政及び諸団体に参加いただき、連携を強調した。
 - ・ 当会顧問との意見交換会開催は見送ったが、顧問である広島海上保安部長, 広島港長様にご講演いただいた。(開催日:12月11日, 参加者:30名)

【2】研修会等の開催、参加

- ① 研修会/講演会への参加
 - ・ 広島県ほか関係官庁、諸団体が開催する研修会等へ積極的に参加した。
- ② 海外トップ研修会の企画開催
 - ・ 会員有志による海外トップ研修会は、国内研修の参加募集に対し、参加者定員を下回ったため見送った。

【3】港湾関係合同行事の開催

- ① 広島港合同賀詞交歓会の開催
 - ・ 港湾3団体(広島みなと振興会, 広島地区港運協会, 広島税関連絡協議会)と広島港関係行政による賀詞交歓会を開催した。(開催日:1月9日, 参加者:102名)
- ② 三団体合同カープ観戦ツアーの開催
 - ・ 広島県倉庫協会, 広島地区港運協会, 広島みなと振興会の3団体共催で、野球観戦を行った。(開催日:8月7日, 参加者:155名, 対DeNA戦)

【4】広島港の振興及び啓蒙活動

- ① 「港湾研究会」の開催
 - ・ 毎月第2水曜日(14時00～)開催を定例とし、検討案件を会員及び関係官庁, 諸団体から幅広く募り、多岐にわたり検討を行った。また、当会ホームページにて会議事項の情報公開を行った。(2019年度 7回開催)
 - ・ ただし、3月度以降の開催は、政府, 広島県の「新型コロナウイルス対策」の要請により、中止とした。
 - ・ 昨年度より開始した研究会の報告案件を事前に関係者からヒアリングを行う「連絡会」は継続して開催し、「港湾研究会」の充実を図った。
- ② 「広島みなとフェスタ」への参画
 - ・ 例年、広島港関係諸団体で構成される実行委員会として参画し、フェスタ初日に物流システム見学会(出島・海田コンテナターミナル内の施設見学)を開催していたが、今年度は「新型コロナウイルス対策」で、フェスタ開催が中止された。

- ③ 安全啓蒙・地域交流活動
 - ・ 広島特別支援学校にて、生徒、父兄、教員様及び“STU48”管理監督者様にご参加いただき、安全啓蒙・地域交流を目的としてトレーラー試乗会を開催した。試乗会では、実際に運転席に乗っていただき、トレーラーは死角が広く、多くの危険が潜んでいることをご認識いただいた。参加者の皆さんから、「貴重な体験ができました！」など、高評いただけた。(開催日:2月18日、参加者:約100名)
- ④ 広島みなと振興会ホームページ
 - ・ ホームページを活用し、当会活動実績の情報公開を行った。
- ⑤ 広島港長期構想計画の実行
 - ・ 2018年9月 広島県ホームページに公開された「広島港長期構想計画」に対し、広島県と適宜協議を重ね、当会の要望(出島埋立地区の早期使用可能な整備要請等)を示しながら、実行を開始した。